

平成 28 年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座

「地区研修(西北地区)」

平成28年9月6日(火) 会場名:つがる市森田公民館

生涯学習・社会教育関係職員研修講座「地区研修(西北地区)」が、9月6日(火)つがる市森田公民館において受講者19名で実施されました。

この研修は、県内6地区の地域課題の把握に努め、各地区のネットワーク形成及び課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を実施することとしています。

西北地区では、『西北五つがる社会教育担当者協議会研修会兼生涯学習・社会教育関係職員研修講座』として開催し、輪番制による今年度は、つがる市教育委員会が事務局を担当しました。

研修テーマは「子どもをまん中においた組織活動の活性化と行政・家庭・地域の役割」でした。午前中は、プロジェクトおおわに事業協同組合 副理事長 相馬 康穂 氏 を講師にお招きして御講演いただきました。また、午後には、「地域活性化に関わるグループワーク」をテーマとして演習を行いました。

1. 講演:【テーマ】「ネットワークを生かした地域の活性化について」

午前中は、プロジェクトおおわに 事業協同組合 副理事長 相馬氏より『子どもをまん中に』をキーワードに、地域の活性化について継続的・発展的に実践している取組をお話いただきました。大鰐町が財政早期健全化団体に指定されたことから、民間町おこしグループ「OH!!鰐 元気隊」を発足し、「元気隊キッズ」の取組につながる経緯と、実際に活動する子ども達の様子を御説明いただきました。また、まちづくり会社設立の計画的・組織的運営の実際をお話いただき、受講者はそのポジティブ思考の実践を真剣に聞き入っていました。

【講義の様子①】



【講義の様子②】



【概要】

- 財政早期健全化団体 ～ **大鰐町の良いものを再発見し、わが大鰐町を希望ある元気な町にする**
→ **民間町おこしグループ「OH!!鰐 元気隊」の発足**
[・ワークショップ ・アクションプラン策定 ・パートナーシップ]
- OH!!鰐 元気隊キッズ ・町内清掃活動 … 毎月実施
・元気隊キッズ野菜 … 栽培 ⇒ 東京での販売体験学習、交流パーティー参加
- 「鰐 come」指定管理者募集(委託料¥0)に「OH!!鰐 元気隊」で応募 ～ **“地元の元気は地元の手で作る!”**
⇒ まちづくり会社の設立 **プロジェクトおおわに事業協同組合**
【経営理念のキーワード】「感謝の心」「満面の笑顔」「心を込めた接客」「世界一の癒しの空間」「地産地消」「地域の活性化」「大鰐ブランド」
【活動内容】・鰐 come 朝礼 ・小中高生等の職場体験学習の受入 ・多様な団体等との連携 等々
- 課題 … 「人材育成」:若手の育成 「すみわけ」:ボランティアとビジネス *OH!!鰐 元気隊 と 鰐 come
「事業内容の見直し」:指定管理再委託 「ブランド戦略組織の確立」:大鰐温泉もやし等
- 持続可能な事業の実施

2. 演習：「地域活性化に関わるグループワーク」

午後は、県総合社会教育センター職員による演習を行いました。テーマは「秋まつりを開こう！～子どもをまん中において～」で、4つのグループを編成してグループワークをしました。受講者のほとんどは同じ地域内でなじみの顔が多いようだったので、導入に自己紹介ならぬ『他己紹介』の時間を設けました。ネームカードに自分の好きなもの・ことをイラストにして描き、隣の人がそれを見て本人に成り代わって紹介するというものでした。お互いの気持ちがほぐれたところで本題の「秋まつり」のプログラムづくりをしました。普段から様々な企画・運営をしている方々ですが、“子どもをまん中に”して、様々な機関と連携した企画・運営とアイデアを出し合う内容で、しかも「無理・できない」や「予算」はこの際考えず、“これができたら楽しい！”というものだったので、思いのほか自由な発想による企画案ができあがりました。

各グループの発表に対しても、質問や感想なども述べられ、とても活発な演習となりました。

【進め方の説明】

【演習の様子】



【グループ発表の様子①】



【グループ発表の様子②】



【概要】

- 「秋まつりを開こう！～子どもをまん中において～」(グループ演習)
 - “子どもをまん中においた秋まつりを開催するために” どのような**連携の仕方**があるか？
- 連携する相手 … 「この人たちと連携すれば、こんなことができそうだ！」～ 個々のアイデアを共有
 - 共有したアイデアを計画案へ ～ 「秋まつり」のプログラム作成
- 全グループの発表 * 質疑応答

3. 受講者の感想

- ・OH!! 鰯元気隊の取組は、夢のようなことに挑戦し、実現させているので素晴らしいと思った。
- ・やる気さえあれば、大抵のことは可能なのかも知れないと感じた。
- ・子どもの意識改革は、大人の意識改革に繋がるということを学んだ。
- ・「ネガティブなことは口に出さない」を実行したい。
- ・人は出来ない・やれないと思っていたら何も出来なくなるけれど、出来ると思ったら次から次へとアイデアが生まれてくるものだと思います。